

福祉だより

令和2年度 下半期

田麦野地域福祉協議会

※この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分金で発行しております。

ご挨拶

会長 小座間由江

桜花の候 皆様には益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃より、田麦野地域社会福祉協議会諸行事につきましては、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、いまだに収束の目途が立たないコロナ感染拡大に伴い、下期も事業の中止・自粛と思うように進まない中、「新しい生活様式」に基づき、コロナ感染防止対策を万全にして実施したところであります。

令和2年度下半期の事業状況を「広報誌」に取りまとめましたので、ご一読下さい。今後とも福祉事業に対し、ご意見・ご助言をいただき、より良い福祉協議会にしてまいります。

市指定文化財
田麦野のオオヤマザクラ



活動状況

1 かさまつ大学

12月17日(木)ふれあい講座

第3回の講座として、虹の架け橋人 みとちゃんのミニマジックショーを開催し、多彩なマジックに皆さん時を忘れ笑顔で過ごしました。



2 地域カフェ(スリッパ卓球 すみれ会)

(1) 11月24日(火)天童最上川温泉「ゆぴあ」研修

毎週水曜日に活動されています。この日は、「ゆぴあ」で、心身を癒しました。



(2) 天童高校 JRC 部(青少年赤十字ボランティア)からの贈り物

3月10日(水)福祉協議会を通じて、田麦野スリッパ卓球「すみれ会」へ天童高校 JRC 部より、力作の手作りコースターがプレゼントされました。「すみれ会」一同感謝しておりました。本当にありがとうございます！



3 3B 体操

コロナ禍で、活動が思うように出来ない中、数少ない活動は感染防止対策をしっかりとやりながら汗をながしていました。



4 要援護世帯及び避難行動要支援者の掌握

例年どおり、要援護世帯訪問(6月及び12月)を民生員、推進委員が中心となり、一人暮らしの高齢者及び高齢者夫婦宅を訪問し、悩み事等現状の把握に努めました。また、2月の大雪に伴い一部県道沿いの樹木が倒木し、通行止めや停電が相次ぎ、更には大きな地震もありましたが、幸いにも被害がなく安心したところですが、関係各位との連携と、高齢者の見守りの必要性を再認識しました。

5 一人暮らし及び要援護世帯の除雪協力

例年になく大雪に見舞われ、自治会員等の協力を得て除雪作業を実施しました。除雪宅は(雪下ろし含む)6件 作業日数は60日でした。大変ご苦労様でした。

6 募金等のご報告

令和2年度後期分を全世帯から寄せていただきました。皆様からの善意に、心から感謝申し上げます。

(単位:円)

区分	世帯戸数	募金額	金額
赤い羽根共同募金	66	450	29,700
歳末助け合い募金	66	300	19,800